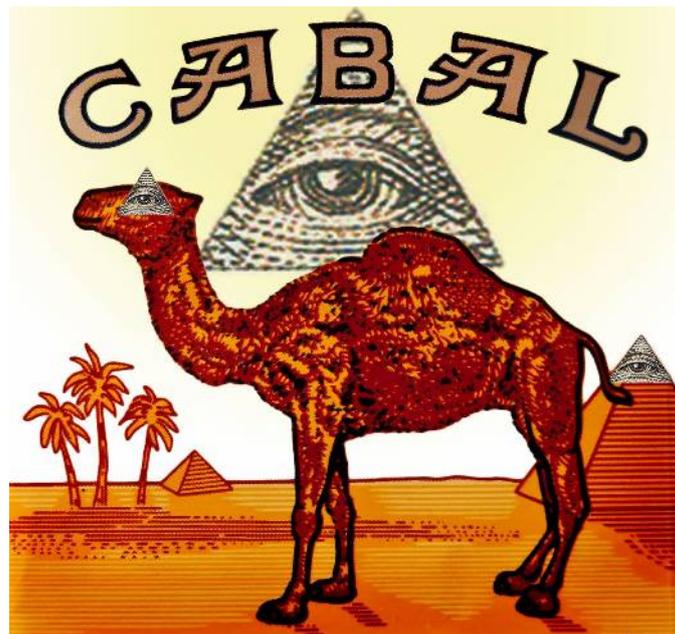


## 370 便機：「陰謀団」の背骨を折る最後のわら？（4の4）

David Wilcock

April 7, 2014



### ノースウッズ作戦

前のセクションで見たこととおさらいすると、アメリカの最高位の軍職員がケネディ大統領に対し、ニセのテロ攻撃を旅客機に仕掛けることを勧めた。

本物の旅客機が無人機とすり替えられ、極端な低空飛行をした後、塗り替えられるというものだった。

その無人機は、彼らの意図した目標を攻撃するだろう。その攻撃は選んだ敵——この場合キューバ——がやったことにされる。

別の計画では、一般大衆には飛行機——乗客を満載したような飛行機——が墜落したと教え込む。

本物の乗客はすべてCIA職員なのだ。この飛行機は非常に低い高度を飛んで、軍の基地に達する。

この乗客たちは、再び本来の自分に戻って社会に紛れ込む。

潜水艦と/または普通船舶を使って、この出来事の直後に、海中にニセ残骸を沈めておく。

## これは“陰謀論”ではない

この計画が米議会によってリークされ、2001年5月、ABCニュースによって調査され公表された——NSAの警告家 James Bamford と連携して。



The screenshot shows the ABC News website interface. At the top, there is a navigation bar with 'HOME', 'VIDEO', 'U.S.', 'WORLD', 'POLITICS', 'ENTERTAINMENT', 'TECH', and 'HEALTH'. Below this is a secondary navigation bar with 'NOW', 'FORT HOOD SHOOTING', 'CHILE EARTHQUAKE', 'SUPREME COURT', and 'MALAYSIA'. The main article is titled 'U.S. Military Wanted to Provoke War With Cuba' and is dated 'NEW YORK, May 1, 2001'. The author is 'By David Ruppe'. The article text discusses Operation Northwoods, a plan to assassinate Cuban émigrés and sink boats of Cuban refugees. It mentions that the plans were developed to trick the American public and the international community into supporting a war to oust Fidel Castro. A quote from James Bamford's book 'Body of Secrets' is included, stating that the Joint Chiefs of Staff approved the plans in 1962, but they were rejected by Robert McNamara. The article concludes with a quote from Bamford: 'These were Joint Chiefs of Staff documents. The reason these were held secret for so long is the Joint Chiefs never wanted to give these up because they were so embarrassing.' On the left side of the article, there are social media sharing buttons for Facebook (21k likes, 9072 shares), Twitter (670 tweets), and Google+ (56 shares). There are also 10 comments shown.

ノースウッズ作戦の特に“プラン9”は、370便機失踪ミステリーについて我々の見てきたことに、どきりとするほどの相関性をもつ。

370便機は最初、同じような計画に従うように意図されていたのだが、計画者たちが一連の恐ろしい間違いをしでかしたように、どうしても見える。

## 全ページをよく見よう

ノースウッズ作戦の“プラン9”は、370 便機のみステリーに照らし合わせて、きわめて重要なものになってきたので、全ページを改めてよく見よう——

~~TOP SECRET~~ ~~SPECIAL HANDLING~~ ~~NOFORN~~  
**UNCLASSIFIED**

stations in the Western Hemisphere to tell the US what has happened to the aircraft instead of the US trying to "sell" the incident.

9. It is possible to create an incident which will make it appear that Communist Cuban MIGs have destroyed a USAF aircraft over international waters in an unprovoked attack.

a. Approximately 4 or 5 F-101 aircraft will be dispatched in trail from Homestead AFB, Florida, to the vicinity of Cuba. Their mission will be to reverse course and simulate fakir aircraft for an air defense exercise in southern Florida. These aircraft would conduct variations of these flights at frequent intervals. Crews would be briefed to remain at least 12 miles off the Cuban coast; however, they would be required to carry live ammunition in the event that hostile actions were taken by the Cuban MIGs.

b. On one such flight, a pre-briefed pilot would fly tail-end Charley at considerable interval between aircraft. While near the Cuban Island this pilot would broadcast that he had been jumped by MIGs and was going down. No other calls would be made. The pilot would then fly directly west at extremely low altitude and land at a secure base, an Eglin auxiliary. The aircraft would be met by the proper people, quickly stored and given a new tail number. The pilot who had performed the mission under an alias, would resume his proper identity and return to his normal place of business. The pilot and aircraft would then have disappeared.

c. At precisely the same time that the aircraft was presumably shot down a submarine or small surface craft would disburse F-101 parts, parachute, etc., at approximately 15 to 20 miles off the Cuban coast and depart. The pilots returning to Homestead would have a true story as far as they knew. Search ships and aircraft could be dispatched and parts of aircraft found.

**UNCLASSIFIED**

~~TOP SECRET~~ ~~SPECIAL HANDLING~~ ~~NOFORN~~

これら2つの話のプロット・ポイントをしっかり押さえ、さらによく考えてみるとどうなるか？

こうしたプランにいまだに——ほとんど宗教的熱意をもって——従っている人々がいるとしよう。

このようなプランはこれまで——何千年とは言わないにしても何百年の間——非常にうまくいったのだとしてみよう。

これは念の入ったマジック・ショーであり、信用詐欺であり、望みの結果をつくり出し、人々を戦争に駆り立てる手である。

第一次大戦は、オーストリアのリーダーが射殺されたときに始まったことを忘れないでこう。アメリカの第二次大戦への参加は、パール・ハーバーが攻撃されたときに始まった。

一次と二次の世界大戦を始めたか加速させた引き金——つまり政治的暗殺と空爆——を、もしたただ一つのメガ・イベントに結合できるとしたら、どうだろう？

そこでその結果、あまりにも強力で、破壊的で、あまりにも恐ろしく、一次と二次の大戦の引き金とは比べ物にならない、ある出来事にぶつかったとしたら、どうだろう？

**ハイジャックから始めて、先へ進むとしよう**

謎に包まれたハイジャック——と我々は考える——が人間の歴史で最も破壊的な、大量政治暗殺になったとしたら、どうだろう？

本物の飛行機は米軍基地に安全に着陸し、ある無人機——すでに爆薬を積んでいる——とすり替えられたとしたら、どうだろう？

もしあなたが、この同じ離れ業——飛行機をハイジャックし、乗客を人質に取り、爆薬を装備すること——が、あなたの敵の仕業だったということで納得したとしたら？

この無人機——同型のボーイング 777——が、その後で国連会議場に突っ込んだとしたら？

これがたまたま、地上のトップ 53 カ国の指導者——ほとんど大統領か首相——が集まっていた会議だったとしたら？

## それは人間の歴史で最も破壊的なテロ攻撃になるだろう

多くのインサイダーが、9.11 のときペンシルヴェニアに不時着した旅客機は、米議会の建物に向かっていたと考えている。

もしこの立法部門が大きく破壊されていたとしたら、即刻、戒厳令が布かれる必要があったであろう。

もし地上のあらゆる重要な国家のリーダーたちが、一度の出来事で殺されたら、これらのどれだけ多くの国家が、戒厳令を布告したことであろうか？

激怒した民衆が正義を求めるのに、そして新しい世界大戦を始めるのに、時間はかからないだろう。

もしこれが成功していたら、それは歴史上、想像を絶する最も効果のあるテロ攻撃になっていたのではあるまいか？



乗客はどうする？

あなたは本来の乗客を、あなたの軍事基地で、人質として「下船させる」が、彼らは自分たちを誘拐したのは誰なのか、分らないようにすることもできるだろう。

彼らは機内で酸欠のために意識を失ったとしたら？——たとえば飛行機を 45,000 フィートあたりまで上昇させ、そして一つは、操縦室の気圧をガス抜きすることによって。

もしあなたが、コンピューター化された自動操縦装置をもっていて、それに切り替えたとしたら？

もしパイロットが突然、飛行機の動きのコントロールを失って、他の人たちと同じように意識を失ったとしたら？

もし乗客が目覚めたとき、頭にはずせない袋をかぶせられていて、真っ暗で、両手を後ろで縛られていたとしたら？



**emily kai**  
@BockKai

coincidence? #MH370 gave off 6 pings, 1/hour and the last radar point lies exactly on US military base Diego Garcia

4:20 PM - 14 Mar 2014

145 RETWEETS 67 FAVORITES

偶然の一致？ MH370 は 1 時間に 1 度、ピッという音を 6 回発し、最後のレーダー・ポイントは、正確に米軍基地ディエゴ・ガルシアにある。

恐ろしい——ことはわかっている、がもう少し読んでください

これが、ひどく不安を掻き立てる話であることはわかっている。私はそれを申し訳ないとも思う。私はこの話のどんな部分も作ってはいないし、こんな世界には住みたくないと思

っている——しかしこれは現実である。

やがてわかっていただけだと思うが、各ピースがうまく合うのである。

我々は、ここで起こったことを変えることはできない。

しかし怖れることなく知ろうと努力すれば、真相への道はかなり近くなる。

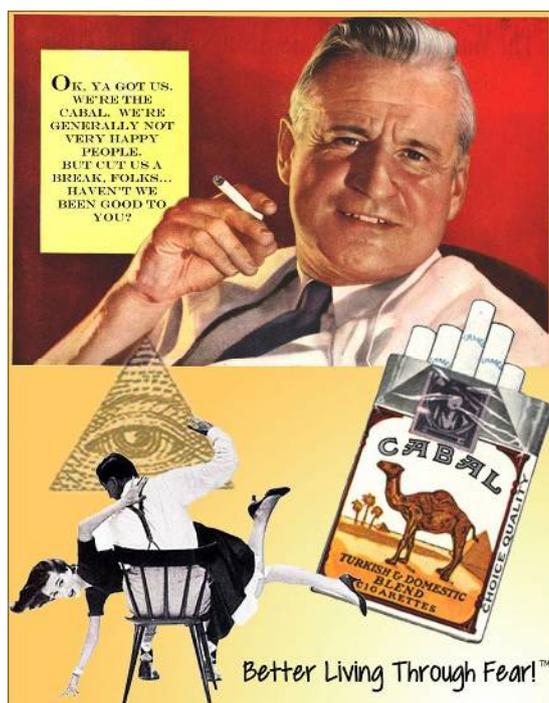
ひとたび真相が露見すれば、これらの計画を成功させることは、もはやできないだろう。

比較的少数の人々のグループ——すなわち「陰謀団」——は、最終的には、それが誰であり何であったかを暴かれることになるだろう。

我々は、なんと彼らはゲームをうまくやってきものだと驚嘆することになるろう。

彼らは人間の歴史において、本当に最大の悪漢であった。これは学者の研究対象として、彼らの「手」を研究するだけで一生涯かかるであろう。

彼らは我々の無知を笑い、反論できない証拠を前にしても、自分たちに罪はないと言うだろう。



「やっ和我々のことが分ったかね。我々は陰謀団だよ。総じて我々はあまり幸せな者たちじゃない。しかし大目に見てもらいたいね、皆さん。あなた方には良いことしてきたつもりだよ。」

## ハイジャックに話を戻そう

世界の選ばれた指導層の突然の失脚については、このあとすぐに論じよう。まず 370 便機に戻って、本当はいったい何が起こったのかを考えてみよう。

もし機内に 2 人か 3 人のあなた自身の手先がいて、他の客たちがみんな酸素を失って眠ったときに、彼らが静かに小さなガスマスクを着けたとしたら？

それからこの手先たちが、歩き回ってみんなを縛り上げたとしたら？

そして彼らは外国語が話せ、ハイジャックしたのがどこの国の者かを、適当に説明できるとしたら？

そしてまた、英語と中国語をわざと強い訛りで話して、人々が目を覚ましたとき、自分たちがハイジャックされたのだと思いこませることができるとしたら？

旅客たちは目を覚まし、誰が自分たちを誘拐したのかわからず、最後には安全な施設にいて——自分たちがどうしてそこに着いたのか、誰がそうしたのか、さっぱりわからないとしたら？

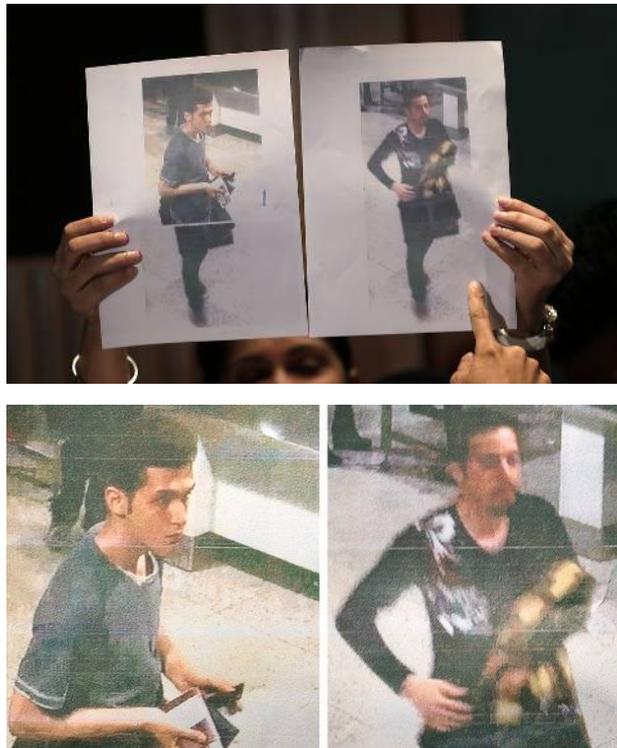
## それからあなたは何かができるか？

それからあなたは、これらの人々を人質状態にあるかのように扱い、あなたの選んだ敵の仕業にすることができる——ノースウッズ方式によって。

あなたは一般人に対し、あなたの敵が飛行機をハイジャックし、彼ら自身の基地に着陸し、すべての人を連れ去ったが、そのとき爆発物を積んでいった、とすることができる。

あなたはこの人質を利用して、さらなる同意を求め、あなたの最も憎らしいグループ——例えばイスラムの戦士を悪者にすることもできる。

あの例の偽パスポートをもった謎のイラン人乗客は、突然、巨大な国際的陰謀の一員になったのであろうか？



**世界のリーダーたちの国際会議は本物だった…それは3月24日に始まった**

世界のリーダーたちのこのような会合は、“だとしたら”ではない。それは実際に起こった——2014年3月24～25日に。

彼らはオランダのハーグの国連ビルディングに集まった。

それは「核安全保障サミット」と呼ばれ、2009年にオバマ大統領によって始められたものである。オバマはそこにいた——多くの他の首脳たちと一緒に。



このリストにあるすべての人々が、もし突然、暗殺されたとしたら何が起こるだろうか？

ここにその名前と肩書きをあげるが、この人たちは、もしこのような攻撃が成功していたら、世界中のあらゆる人々に、今よりもっと知られるようになったであろう。

生涯に一度という類の、こんな見出しが出たであろう――

## **HORROR AT THE HAGUE: OBAMA, MERKEL, HEADS OF 51 OTHER NATIONS BELIEVED DEAD *DRUDGE REPORT***

万一、これら 58 人のリーダーと、その補佐官が、同時に死んだとしたら、どれほど速やかに、我々は世界大戦へとエスカレートしたであろうか想像してみよう――

1. オランダ首相 Mark Rutte
2. ヨルダン王 Abdulah II Bin Al-Hussein
3. UAE (アラブ首長国連邦) 大統領 Sheik Mohammed bin Zayed Al Nahyan

4. アルメニア大統領 Serzh Sargsyan
5. アゼルバイジャン大統領 Iham Aliyev
6. 中国国家主席 習近平
7. フィンランド大統領 Sauli Niinisto
8. フランス大統領 Francois Hollande
9. ガボン大統領 Ali Bongo Ondimba
10. カザフスタン大統領 Nursultan Nazarbayev
11. リトアニア大統領 Dalia Grybauskaite
12. ナイジェリア大統領 Goodluck Ebele Jonathan
13. 韓国大統領 朴槿恵
14. ルーマニア大統領 Traian Basescu
15. スイス大統領 Didier Burkhalter
16. トルコ大統領 Abdullah Gul
17. アメリカ大統領 Barack Obama
18. アルゼンチン副大統領 Amado Boudou
19. ブラジル副大統領 Michel Temer
20. インドネシア副大統領 Boediono
21. フィリピン副大統領 Jejomar C. Binay
22. アルジェリア首相 Youcef Yousfi
23. ベルギー首相 Elio Di Rupo
24. カナダ首相 Stephen Harper
25. デンマーク首相 Helle Thorning-Schmitt
26. グルジア首相 Iraki Garibashvili
27. ドイツ首相 Angela Merkel
28. イタリア首相 Matteo Renzi
29. 日本首相 安倍晋三
30. ノルウェイ首相 Ema Solberg
31. パキスタン首相 Nawaz Sharif
32. ニューージーランド首相 John Key
33. シンガポール首相 Lee Hsien Loong
34. スウェーデン首相 Fredrik Reinfeldt
35. イギリス首相 David Cameron
36. ベトナム首相 Nguyen Tan Dung
37. チェコ共和国首相代理 Pavel Belobradek
38. マレーシア首相代理 Muhyiddin Yassin
39. オーストラリア外務大臣 Julie Bishop

40. チリ外務大臣 Heraldo Munoz
41. エジプト外務大臣代理 Hamdi Sanad Loza
42. ハンガリー外務大臣 Janos Martonyi
43. インド外務大臣 Salman Khurshid
44. イスラエル情報・戦略担当大臣 Yuval Steinitz
45. モロッコ外務大臣 Salaheddine Mezouar
46. メキシコ外務大臣代理 Juan Manuel Gomez-Robledo
47. ポーランド外務大臣 Radoslaw Sikorski
48. ロシア外務大臣 Sergey Lavrov
49. サウディアラビア大統領 Hashim Yamani
50. 南アフリカ国際関係大臣 Maite Nkoana-Mashabane
51. スペイン外務大臣代理 Gonzalo de Benito
52. タイ首相特別代理 Sihasak Phuanketkeow
53. ウクライナ外務大臣 Andrii Deshchytzia
54. EU 委員会委員長 Jose Manuel Barroso
55. EU 理事会議長 Herman Van Rompuy
56. IAEA（国際原子力機関）所長 Yukiya Amano
57. 国連事務総長 潘基文
58. INTERPOL（国際警察）事務総長 Ronald K. Noble

**確かに、誰かがこんなことを試みたという証拠はない**

主流メディアは、ボーイング 777-E R——370 便機に正確に似た——がハーグから 2 機の F-16 戦闘機に付き添われ連れ去られたことに、ほとんど触れさえしていない。



F-16（複数）が、ハーグの国際サミット近くの領空に向かっていたボーイング 777 を横取り

<http://www.cnn.com/2014/03/24/world/europe/summit-plane-intercept/>

（CNN）王室オランダ空軍は、月曜日、核安全保障サミットのために世界各国リーダーがオランダに集まっていたとき、正当な許可なくオランダ領空に侵入した貨物機を立ち退かせるために、戦闘機を緊急発進させた。

このマイアミからアムステルダムへ向かうLAN貨物機ボーイング 777 は、ハーグでのサミット周辺の規制のために、オランダ領空から「航路をそらされた」、とオランダ安全保障および司法省スポークスマン Edmund Messchaert は、CNNに対して語った。

メッセルトによれば、オランダのF-16 戦闘機は規定手順に従い、この飛行機を事故なしにドイツまで護送した。

LAN貨物機は明らかに、着陸許可を申請することを忘れており、サミットのために領空規制が布かれていることを知らなかったようだ、と彼は話した。

チリに本拠のある運送会社からの声明は、「この便の特別秘密扱いに起こったエラーのために」UC 1503 便はアムステルダムに着陸できず、フランクフルトへ誘導されたことを確認している。

航空会社によれば、この飛行機はのちに、アムステルダムへ続けて飛ぶ許可を与えら

れた。

## Preston James は、「陰謀団」が“イチかバチか” (go for broke) の手段に出たことを確認している

これは単なる滑稽な陰謀論だろうか？ 高位の軍インサイダーと接触しているプレストン・ジェイムズの、Veterans Today に載った論文によれば、そうではない。

ジェイムズ博士は、あるかなり異様に聞こえる文章を書いている。しかしこの世界は深入りすればするほど、ますます奇怪になる。

ボーイング 777 の複製がハーグの世界サミットに突っ込む計画をしていた

<http://www.veteranstoday.com/2014/03/29/secret-space-war-xv-epic-fail-neocons-go-for-broke-with-cz748-but-tall-whites-neutralize-cloaking-device/>

2014 年 3 月 8 日、ネオコンたちは、China Southern 航空会社の CZ 748 [マレーシア MH370] 便機をハイジャックすることによって、イチかバチかの手に出た。

一機の姉妹船（同型ボーイング 777）もこの飛行機と同時に用意されていて、“Deep Black 作戦” に使う予定だった。これはオトリを使う“ニセ旗”攻撃で、イラン、シリア、ウクライナをめぐる、米露間に、核による第三次大戦を起こさせる計画だった。

この姉妹船はうまく偽装され、ハイテクによる爆発装置を後から取り付けたものだった。

それはマイアミから、最終目的地をオランダのハーグに取って飛ばされた——2014 年 3 月 24 日の、核サミットのための会合に突っ込むために。(1)

オランダ空軍と、ボーイング 777 に取り付けられた特別の“ブラックボックス”隠蔽装置を無力化した、何らかの存在 (entity) のおかげで、この恐怖の飛行体は、オランダ、ハーグでの核サミット会議への最終的な攻撃の降下体勢から、強制的に逸らされた。(2)・・・

この飛行爆弾 777 は、ハーグへ真っ直ぐに向かっていたのだが、2 機のオランダ空軍 F

-16によって、オランダ領空に侵入したときに進路を逸らされた。それは、彼らの防衛レーダーにそれが現れたとき、要求された応答信号が返ってこなかったためである。(4)

ブラックボックス隠蔽装置が「無力化」(neutralize)されたのは、不思議でもあり、予期しなかったことである。

このブラックボックス隠蔽装置が効かなくなり、その結果、この飛行体はオランダの防衛レーダー装置に認識されたのだと考えられている。

このブラックボックスが無力化されたのは、これも超ハイテクの“Beyond-Black”エイリアン・テクノロジーに基づくものようである。(訳注：何ものかによる遠隔操作による核弾頭無力化は世界中で起こっている)

## ここに皆さんへの宿題を出しておきます

ここまでで読者は、多くの点と点がつながって、すでに出会った多くの他のピースのことも考えて、全体の辻褄が合うと思っておられるかもしれない。

第2部が現れる前に、読者に宿題を出しておきたい。

ここに我々が並べたパズルのピースを、ノースウッズ文書の正確なプランも含めて、すべて集め、読者がいま得た知識と考え合わせていただきたい。

あなたがノースウッズと 370 便機を結合してみるなら、ストーリーはこれまでより、遙かにもっと納得できるものになる。

このストーリーは急速に主流になりつつある。MH 370 の乗客 Philip Wood の妻 Sarah Bajc は、CNN への談話でこれは「陰謀団」に違いないと言った。

## これは現に主流ニュースで起こっている

ここにCNNの取材した Sarah Bajc の驚くべき証言報告が2つある――

4/4 : CNN ショッキング・ニュース : MH370 便機は無事、全員生存、機は軍のジ

ェット戦闘機によってエスコートされた

<http://sgtreport.com/2014/04/shocker-mh370-passenger-philip-woods-girlfriend-tells-cnn-the-plane-intact-all-alive-plane-was-followed-by-military-jets/>

マレーシア 370 便機乗客のフィリップ・ウッズの女友達、Sarah Bajc は、金曜日、CNN に対し、MH370 はそれが「失踪する」前に、「戦闘機（複数）に伴われている」ところを見たという目撃報告を聞いていると主張した。

Bajc はまた CNN に対し、彼女と他の乗客の家族たちは、飛行機が無事であるのみならず、乗客も生存していると確信していると語った。

彼女は結論として、呆然とする CRF メンバーと CNN 記者 Erin Burnett に対し、「多くの人々が、これにはアメリカが関わっていて・・・ここにいる家族や家族以外の人たちが共通して考えているのは、これは何らかの軍事作戦だということだ」と言った。

4/4 : 370 便機事件、軍による作戦行動、乗客はまだ生きている

<http://intellihub.com/girlfriend-370-passenger-wood-fighter-jets-accompanied-flight-370-secret-militarized-operation-husband-still-alive/>

クアラ・ルンプール (INTELLIHUB) ——事件はひねられて展開し、行方不明の 370 便機の乗客フィリップ・ウッズの女友達 Sara Bajc は、CNN に対し、マレーシア軍とアメリカまでが、3月8日朝の、航空機の失踪事件をめぐる巨大な隠蔽に、巻き込まれている可能性があると言った。

驚くべきことに、Bajc は CNN に、「ジェット機 [370 便機] は実は戦闘機が付き添っていて、それには目撃者がいるのです」と語った。

「あの飛行機がどこへ行き、今誰がそれを押さえているのかを、もっとしっかり調査する必要があると思います」と Bajc は CNN に語り、続けて、彼女の男友達のフィリップ・ウッズはまだどこかに生きていると思うと説明した。

Bajc はまた、家族の人たちとの間の一致した見解もまた、飛行機がまだどこかに無事であるという考えに傾いていると言い、軍事的な作戦行動に言及した。

「私は、マレーシアの軍部は、飛行機がいることを知っていて、何らかの方法で追跡したと確信しています。現在、彼らがそれをコントロールしているかどうかは、私た

ちにはわかりません。

「多くの人たちが、アメリカが関わっていると言っています・・・しかし、ここにいる家族と家族以外の人たちでさえ、その間に共通する考え方は、これは何らかの軍事作戦行動に違いないというものです」と Bajc は語った。

ショッキングなことに、これは Intellihub ニュースがすでに得ている情報に一致する。このニュースは、GPS メタ・データを通じて、フィリップ・ウッドは、アメリカの管理する軍事基地ディエゴ・ガルシアの、収容所にいると推定している。

## 2 機の戦闘機というのは誤解だったかもしれない

Sarah Bajc は、“無人機” 777 がハーグ近くの着陸地域へ侵入していき、2 機の F-16 に付き添われたというニュースを、本来のハイジャックされた飛行機と誤解したかもしれない。

いずれにせよ、いかに速やかに公式ストーリーが——主流メディアにおいてさえ——崩れかけたかということは、注目すべきであり、励まされることである。

私は次のビデオが長持ちすると期待はしていないが、そのコピーは間違いなくずっとあるだろうから、変化が起こるにつれて、それに合わせていこうと思う。

### 動画

[http://www.youtube.com/watch?feature=player\\_embedded&v=jpKot27qbyw](http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=jpKot27qbyw)

## CNNは、飛行機がレーダー発見を避けるための慎重なコースを取っていたことを明らかにしている

CNNはまた、これを書いている 4 月 6 日の時点で、新しいデータを公開することによって、「陰謀団」に応酬したところである——

370 便機は、明らかにレーダー発見を避けるためのコースを飛んだ

[http://www.cnn.com/2014/04/06/world/asia/malaysia-airlines-plane/index.html?hpt=hp\\_t1](http://www.cnn.com/2014/04/06/world/asia/malaysia-airlines-plane/index.html?hpt=hp_t1)

クアラ・ルンプール、マレーシア (CNN) —— 探索者が失踪したマレーシア旅客

機に近づきつつあるかもしれないという新しい徴候とともに、日曜日、また新たに奇妙な事実が浮上した。

この航空機は、電波の届かない場所を、コースを外れて飛びながら、マレーシア領空を迂回した、とマレーシア政府の高官筋はCNNに語った。

この飛行機の経路の新しい分析から、**同機がレーダーによる発見を避けるためのルートを誘導された可能性がある**ことを、同筋は明らかにした。

しかし、飛行機をそんな風に操縦するのはなぜだろう？ そしてそれは今どこにあるのだろうか？

それこそ調査官たちが答えようと、しかも速やかに答えようとしている、鍵となる質問である。

## 「陰謀団」のための新しいタロット・カード

今この時期に起こりつつある全体的な重大な変化に光を当てるために、私は「陰謀団」のための新しいタロット・カードを考案した。

これは実は、「悪魔」、「雷に打たれた破壊の塔」、それに、すべてがポジティブに解決する「世界」の、3つの“原型”のコンビネーションである。

すばらしい才能をもつ挿絵画家 **Patrick Blaine** が、このヴィジョンを私のために現実化してくれた——これは私のグラフィック・デザインの能力を超えるので。

お楽しみあれ——そしてこの場合私は、この調査研究の残りを、ごく近いうちに書きあげたいと思っている。言うべきことはもっと沢山ある。

私は、そうすることによって固めようとしている、**360** ページ以上のリンクの記録文書を持っている。

私は深遠な、大きな革新が間近に迫っていると信じている。ドミノの最初の一つが、すでに倒れかかっている。結果は明らかである——見る眼をもつ人々には。



このストーリーは、一日単位で展開しつつある。だからこの時点での我々の最上の賭けは、「期待されないものを期待する」ことである。

大サイクルの観点からは、今が重大な変化の時である。そういったことすべてについては後に、第2部で論じようと思う。ご期待を乞う。